

事後評価調書

I 事業概要						
事業名	道路事業					
地区名	主要地方道名古屋岡崎線（豊明工区） ^{とよあけ}					
事業箇所	豊明市沓掛町 ^{くつかけ}					
事業のあらまし	<p>主要地方道名古屋岡崎線（（都）名古屋岡崎線）は、名古屋市と岡崎市を結ぶバイパス道路で、名古屋第二環状自動車道や伊勢湾岸自動車道といった高規格道路にアクセスする重要な幹線道路である。また、第二次緊急輸送道路として位置づけられており、防災上重要な路線でもある。</p> <p>本事業区間の周辺道路では、慢性的に渋滞が発生しているなど、交通課題を抱えている。</p> <p>このため、高規格道路へのアクセス性の向上及び緊急輸送道路ネットワークの強化を図るため、主要地方道名古屋岡崎線を整備したものである。</p>					
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>（１）陸・海・空一体の国際競争力（高規格道路へのアクセス性向上）</p> <p>（２）地震・津波対策（緊急輸送道路ネットワークの強化）</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>					
事業費	事業費		内訳			
	11.0億円		■工事費 3.4億円、■用補費 7.1億円、■その他 0.5億円			
事業期間	採択年度	2006年度	着工年度	2006年度	完成年度	2016年度
事業内容	バイパス整備（延長：0.4km、車線数：暫定2車線、幅員：30m）					
II 評価						
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>（１）陸・海・空一体の国際競争力（高規格道路へのアクセス性向上）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業区間の整備により、名古屋第二環状自動車道鳴海インターチェンジへのアクセス性が向上したことにより、事業区間周辺の慢性的な渋滞が緩和された。 <p>（２）地震・津波対策（緊急輸送道路ネットワークの強化）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要地方道名古屋岡崎線は第二次緊急輸送道路として指定されているため、事業区間の整備により緊急輸送道路ネットワークの強化が図られた。 <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>本事業により、高規格道路へのアクセス性向上及び緊急輸送道路ネットワークの強化が図られ、事業目標は十分に達成している。</p>				
	1) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>—</p> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>—</p>				
III 対応方針（案）						
今後の事後評価の必要性	・事業目標に対して目標を達成しており、今後の事後評価の必要性はない。					
改善措置の必要性	・事業目標に対する効果が十分に発現しており、新たな課題も見られないため、改善措置の必要性はない。					
同種事業に反映すべき事項	・標準的な事業計画、事業プロセス、工法で施工されているため、同種事業に反映すべき事項はない。					